



十八日午後、船の船員を乗除しに入りかけた船員、五人が、中から吹き出たガスに倒れ、死亡

大津丸(五二才)がサンマを江

名港に揚げたあと、魚食を除

するため、同船の船員赤崎作

町、荒木(三才)所有のサンマ船

み、酸素吸人などで手当を加え

たが、藤田さんは午後四時ごろ方

舟で死んだ。また、船員さん

は震度だったが、十九日朝にはや

さくら平市磯崎(坂本哲

一回復し、生命には異常がなくな

り、他の二人は軽症だった。

磐城保健所、磐城署の調べでは

大津丸は漁船として九月三十

日まで北洋漁業に従事したあと

一回帰航、こんどはサンマ船と

出漁したものだが、魚食内

飲水が多めを吸って昏倒し

た。これを助けようとしてかけつけた同僚の藤田さん(坂本哲夫さん)も同じく船員浪江

夫さん(三才)も、双葉郡浪江

町諸吉(山下)の四人も次々と倒れ

る。これがガスを吸って昏倒し

た。これを助けようとしてかけつけた同僚の藤田さん(坂本哲夫さん)も同じく船員浪江

夫さん(三才)も、双葉郡浪江

町諸吉(山下)の四人も次々と倒れ

る。これがガスを吸って昏倒し

た。これを助けようとしてかけつけた同僚の藤田さん(坂本哲夫さん)も同じく船員浪江

夫さん(三才)も、双葉郡浪江

町諸吉(山下)の四人も次々と倒れ

魚倉掃除でガス中毒発生

江名港
大津丸
掃除不完全が原因

死亡一、四人が重軽症

江名港

大津丸

掃除不完全が原因

江名港

NHK 第19日

1040KC

6・05 劇「そのいすにすわれゆかかなーサークス」
12 「1丁目1番地」
7・15 「きょうの国会から」
30 今週の明星 伊藤久男
井上ひろじ、和田弘とマピナスターごまと
8・00 ①恋語「今戸焼」可樂
②漫才「お笑いカチャーシャ」
③落語「高田の馬場」金馬
9・10 25 ニュース解説坂田二郎
漫才「大和わんぱくまゆみ」歌、白根一男
民謡劇「斎太郎旅日記」白坂道子
10・10 曲がり角に来た倍増景

NHK 第30

1540KC

11・10 放射能の国際調査 相島敏夫△海外だより
20 「ぶどう酒」桐島竜太郎
10・15 高校初級
35 上級「数Ⅱ」
55 上級「近世文」
11・20 35 音楽鑑賞「樂長ハイドン」(交響曲のはじまり)
7・00 30 若い世代へ①友へのたより②座談「読書の秋」
30 「恋と人生」亀井勝一郎

NHK 第6・20

8・00 KC

工業「光の性質」角田正二郎
設計の標準化 原田明
そらばん教室
基礎英語△英会話
若い世代へ①友へのたより②座談「読書の秋」
30 「恋と人生」亀井勝一郎

8・00 教養特集 座談会「歴史よもやま話」(維新の志士たち)小西得郎

松本清張 漢久井道雄

司会池島信平

芸術劇場「韻律」田中千秋夫作

三島雅夫△音質太郎

小沢栄太郎

中谷一郎 平松淑美

高校初級

中級「数Ⅱ」

上級「近世文」

仏語初級 前田陽一

音楽鑑賞「樂長ハイドン」(交響曲のはじまり)

8・00 KC

8・00 ジャジャ馬くん△音楽の小箱

6・00 ジャジャ馬くん△音楽の小箱

10・05 連続浪曲「続姿三四郎」

8・10 パラドスアワー

11・05 連続放送劇 宮本武蔵

20 ジャズへの招待△お休みの前に

7・10 録音ニュース

15 アイ・ジョージ心のうた

30 犯人を挙げろ「ソーカットヘアの女」前編

武蔵英司 宮川洋一

大宮悌三

オーシャンミュージック

ク今宵を貴方と 矢島正明

8・00 フェザーライブ

30 黒百合城の兄弟

7・15 バス通り裏 小栗一也

30 平凡アワー「新進歌手青春放談」北原誠二

藤木孝△飯田久彦

クローバージュクボ

20 ックス△愛の渦潮2.0

10・05 連続浪曲「続姿三四郎」

アムネリス ジェリエ

ツタ・シミオナート アルド・

マモナスロ ランフィ

プロッティ パオロ・ワント

スン エジプト王 シル

バーノ・パリュー△

使アトス、チエザ

リ一ニほか

きようのニュース△え

ボーツニュース△海外

アラッシュ

ニュースの焦点 旗頭

五郎

時の大情「防火診断」

消防総監江藤彦武

経済の目「土地」

ウッチ・ラダメス・マ

リオ・デル・モナコ

100貨店

はこしで12

回向される。

石城藝文化祭

方舟の請負人札は十一日前

福事務所で行なう。

各市町村ごとに

首の産文祭を開いているた

め、あたためて石城藝文化祭の

必要をなからうから、それは

平市だけの産文祭にしてはど

うかとの空氣が高まってきた

いる。平市だけお祭がどら

といふこともあるのだろうが

ここで改めて石城藝文化祭の

意義を再検討してみる必要が

あると思う。結論からいふ

ことこのじめ改めて石城藝文化祭の

意義を再検討してみる必要